

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
実習指導ゼミナール(福祉事務所・障害者系) Practicum in Fieldwork of social work		2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	実験実習	選択	(日本大学文理学部社会福祉学科編入希望者は必修)	日本大学文理学部社会福祉学科編入希望者のみ履修することができる
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大熊 信成 / 中島 佳子 日本大学文理学部社会福祉学科各教員		福祉棟3階、栄養棟3階、日本大学文理学部	各教員から説明します	授業中に指示します
授業の概要				
日本大学内でのゲストスピーカーによる講義・施設見学・領域別研究を通して、ソーシャルワーク実習を行うためのソーシャルワークの価値・知識・技術を学ぶ。				
授業の目標				
(1) ソーシャルワークの価値を学び、説明できるようにする。 (2) ソーシャルワークの知識を学び、説明できるようにする。 (3) ソーシャルワークの技術を学び、説明できるようにする。 (4) 領域別の専門知識を学び、その共通性と違いを理解できるようにする。 (5) 施設見学を通して、実習生としての心構えを学び、体系化できるようにする。				
授業の方法				
講義・グループディスカッション・事例検討				
学習の成果(学習成果)				
実習分野と施設・事業者・機関・団体・地域社会について体系的にすることができ、実習に向けて、専門職および社会人としてのふるまいを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(全体) 1	日本大学教員が本学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第2回目	ガイダンス(ゼミ) 1	日本大学教員が佐野短期大学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第3回目	ガイダンス(ゼミ) 2	日本大学教員が佐野短期大学に本学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第4回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 1	日本大学文理学部		
第5回目	ゲストスピーカー 1	日本大学文理学部		
第6回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 2	日本大学文理学部		
第7回目	ゲストスピーカー 2	日本大学文理学部		
第8回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 3	日本大学文理学部		
第9回目	ゲストスピーカー 3	日本大学文理学部		
第10回目	ガイダンス(全体) 2 施設見学について	日本大学文理学部		
第11回目	施設見学 1	日本大学文理学部		
第12回目	施設見学振り返り 1	日本大学文理学部		

第13回目	施設見学 2	日本大学文理学部
第14回目	施設見学振り返り 2	日本大学文理学部
第15回目	実習希望先のレポート作成について	日本大学文理学部
第16回目	ガイダンス（全体） 1	日本大学文理学部
第17回目	個別指導 1	佐野短期大学
第18回目	個別指導 2	佐野短期大学
第19回目	個別指導 3	佐野短期大学
第20回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 4	日本大学文理学部
第21回目	ゲストスピーカー 4	日本大学文理学部
第22回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 5	日本大学文理学部
第23回目	ゲストスピーカー 5	日本大学文理学部
第24回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 6	日本大学文理学部
第25回目	ゲストスピーカー 6	日本大学文理学部
第26回目	実習領域についての研究報告 1	佐野短期大学
第27回目	実習領域についての研究報告 2	佐野短期大学
第28回目	実習領域についての研究報告 3	佐野短期大学
第29回目	実習領域についての研究報告 4	佐野短期大学
第30回目	上級生による実習報告	日本大学文理学部
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	以下の視点で評価する。教科書等の準備をして授業に臨んでいる。演習に意欲的に参加している。他者の発表を聴いたり意見や感想を述べ学び合うことができている。
レポート	50%	課題及び授業内で実施するミニレポートで評価する。 S評価の基準：提出期限、指定の様式を守り、誤字脱字がない。講義やワークの意味を捉えて内容がまとめられていること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない		
履修上の留意点・ルール		
日本大学文理学部社会福祉学科への編入希望学生は必ず履修すること。日本大学で授業は金曜日の3時限（13：00～14：30）に行う。 本学で行う場合、土曜日開講の場合もある。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
実習指導ゼミナールⅠ(高齢者・MSW系) Practicum in Fieldwork of social work		2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	実験実習	選択	(日本大学文理学部社会福祉学科編入希望者は必修)	日本大学文理学部社会福祉学科編入希望者のみ履修することができる
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大熊 信成 / 中島 佳子 日本大学文理学部社会福祉学科各教員		福祉棟3階、栄養棟3階 日本大学文理学部	各教員から説明します	授業中に指示します
授業の概要				
日本大学内でのゲストスピーカーによる講義・施設見学・領域別研究を通して、ソーシャルワーク実習を行うためのソーシャルワークの価値・知識・技術を学ぶ。				
授業の目標				
(1) ソーシャルワークの価値を学び、説明できるようにする。 (2) ソーシャルワークの知識を学び、説明できるようにする。 (3) ソーシャルワークの技術を学び、説明できるようにする。 (4) 領域別の専門知識を学び、その共通性と違いを理解できるようにする。 (5) 施設見学を通して、実習生としての心構えを学び、体系化できるようにする。				
授業の方法				
講義・グループディスカッション・事例検討				
学習の成果(学習成果)				
実習分野と施設・事業者・機関・団体・地域社会について体系的にすることができ、実習に向けて、専門職および社会人としてのふるまいを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(全体) 1	日本大学教員が本学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第2回目	ガイダンス(ゼミ) 1	日本大学教員が佐野短期大学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第3回目	ガイダンス(ゼミ) 2	日本大学教員が佐野短期大学に本学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第4回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 1	日本大学文理学部		
第5回目	ゲストスピーカー 1	日本大学文理学部		
第6回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 2	日本大学文理学部		
第7回目	ゲストスピーカー 2	日本大学文理学部		
第8回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 3	日本大学文理学部		
第9回目	ゲストスピーカー 3	日本大学文理学部		
第10回目	ガイダンス(全体) 2 施設見学について	日本大学文理学部		
第11回目	施設見学 1	日本大学文理学部		
第12回目	施設見学振り返り 1	日本大学文理学部		

第13回目	施設見学 2	日本大学文理学部
第14回目	施設見学振り返り 2	日本大学文理学部
第15回目	実習希望先のレポート作成について	日本大学文理学部
第16回目	ガイダンス（全体） 1	日本大学文理学部
第17回目	個別指導 1	佐野短期大学
第18回目	個別指導 2	佐野短期大学
第19回目	個別指導 3	佐野短期大学
第20回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 4	日本大学文理学部
第21回目	ゲストスピーカー 4	日本大学文理学部
第22回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 5	日本大学文理学部
第23回目	ゲストスピーカー 5	日本大学文理学部
第24回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 6	日本大学文理学部
第25回目	ゲストスピーカー 6	日本大学文理学部
第26回目	実習領域についての研究報告 1	佐野短期大学
第27回目	実習領域についての研究報告 2	佐野短期大学
第28回目	実習領域についての研究報告 3	佐野短期大学
第29回目	実習領域についての研究報告 4	佐野短期大学
第30回目	上級生による実習報告	日本大学文理学部
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	以下の視点で評価する。教科書等の準備をして授業に臨んでいる。演習に意欲的に参加している。他者の発表を聴いたり意見や感想を述べ学び合うことができている。
レポート	50%	課題及び授業内で実施するミニレポートで評価する。 S評価の基準：提出期限、指定の様式を守り、誤字脱字がない。講義やワークの意味を捉えて内容がまとめられていること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない		
履修上の留意点・ルール		
日本大学文理学部社会福祉学科への編入希望学生は必ず履修すること。日本大学で授業は金曜日の3時限（13：00～14：30）に行う。 本学で行う場合、土曜日開講の場合もある。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
実習指導ゼミナール I (児童系) Practicum in Fieldwork of social work I		2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	実験実習	選択	(日本大学文理学部社会福祉学科編入希望者は必修)	日本大学文理学部社会福祉学科編入希望者のみ履修することができる
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大熊 信成 / 中島 佳子 日本大学文理学部社会福祉学科各教員		福祉棟3階、栄養棟3階 日本大学文理学部	各教員から説明します	授業中に指示します
授業の概要				
日本大学内でのゲストスピーカーによる講義・施設見学・領域別研究を通して、ソーシャルワーク実習を行うためのソーシャルワークの価値・知識・技術を学ぶ。				
授業の目標				
(1) ソーシャルワークの価値を学び、説明できるようにする。 (2) ソーシャルワークの知識を学び、説明できるようにする。 (3) ソーシャルワークの技術を学び、説明できるようにする。 (4) 領域別の専門知識を学び、その共通性と違いを理解できるようにする。 (5) 施設見学を通して、実習生としての心構えを学び、体系化できるようにする。				
授業の方法				
講義・グループディスカッション・事例検討				
学習の成果 (学習成果)				
実習分野と施設・事業者・機関・団体・地域社会について体系的に学ぶことができ、実習に向けて、専門職および社会人としてのふるまいを身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (全体) /ガイダンス(ゼミ) 1	日本大学教員が本学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第2回目	ガイダンス (全体) /ガイダンス(ゼミ) 2	日本大学教員が佐野短期大学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第3回目	ガイダンス (全体) /ガイダンス(ゼミ) 3	日本大学教員が佐野短期大学に本学に来学し、ガイダンスを行う予定		
第4回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 1	日本大学文理学部		
第5回目	ゲストスピーカー 1	日本大学文理学部		
第6回目	ゲストスピーカー聴講のための事前学習 2	日本大学文理学部		
第7回目	ゲストスピーカー 2	日本大学文理学部		
第8回目	ガイダンス (施設見学について)	日本大学文理学部		
第9回目	施設見学 1	日本大学文理学部		
第10回目	施設見学振り返り (レポート) 1	日本大学文理学部		
第11回目	施設見学 2	日本大学文理学部		
第12回目	施設見学振り返り (レポート) 2	日本大学文理学部		

第13回目	施設見学 3	日本大学文理学部
第14回目	施設見学振り返り（レポート） 3	日本大学文理学部
第15回目	実習希望先のレポート作成について	日本大学文理学部
第16回目	ガイダンス 1	日本大学文理学部
第17回目	ガイダンス 2	日本大学文理学部
第18回目	ガイダンス 3	日本大学文理学部
第19回目	領域別研究 1	佐野短期大学
第20回目	領域別研究 2	佐野短期大学
第21回目	領域別研究 3	佐野短期大学
第22回目	領域別研究 4	佐野短期大学
第23回目	領域別研究 5	佐野短期大学
第24回目	領域別研究 6	佐野短期大学
第25回目	領域別研究 7	佐野短期大学
第26回目	領域別研究 8	佐野短期大学
第27回目	領域別研究 9	佐野短期大学
第28回目	領域別研究 1 0	佐野短期大学
第29回目	領域別研究 1 1	佐野短期大学
第30回目	領域別研究 1 2	佐野短期大学
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	以下の視点で評価する。教科書等の準備をして授業に臨んでいる。演習に意欲的に参加している。他者の発表を聴いたり意見や感想を述べ学び合うことができている。
レポート	50%	課題及び授業内で実施するミニレポートで評価する。 S評価の基準：提出期限、指定の様式を守り、誤字脱字がない。講義やワークの意味を捉えて内容がまとめられていること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない		
履修上の留意点・ルール		
日本大学文理学部社会福祉学科への編入希望学生は必ず履修すること。日本大学で授業は金曜日の3時限（13：00～14：30）に行う。 本学で行う場合、土曜日開講の場合もある。		